

築60年超を改修 鳥居が目印 1泊2800円から

若い旅人 格安の宿

岡山市北区の奉還町商店街のはずれに、築60年以上の店舗兼住宅を改修したゲストハウスが6日、オープンする。カバン一つでやってくる若い旅行者をターゲットにした「素泊まり、相部屋」が基本の格安の宿。地元住民からは「若者が来ると街が活気づきそう」と期待の声が上がる。

岡山・奉還町商店街に6日開業



JR岡山駅から西に伸びる商店街。かつて精肉店だった木造2階建ての建物がある。特徴は正面に立つ4連の古びた鳥居だ。

共同管理人に就く野口明生さん(27)と明石健治さん(27)は、ゲストハウスを「どりいくべる」と名付けた。ただ、鳥居の由来は分からない。

改修計画が持ち上がったのは昨年10月。中古住宅の

ゲストハウス「どりいくべる」の管理人の野口明生さん(左)と明石健治さん(岡山市北区奉還町4丁目)

声の期待にぎわいと出会い

リノベーションを手がける岡山市中区の不動産会社「バルプラン」の石井信社長(42)が、鳥居のあるこの建物をたまたま見かけたことがきっかけだ。

「ユニークな建物を地域の目玉にしたい」。そんな思いを家主や知り合いの建築士に話し、岡山市内ではまだ珍しいゲストハウスにすることが決まった。鳥取県でゲストハウスの立ち上げ事業に関わった野口さんらに、管理人をやらなかと持ちかけた。

2階が定員20人前後のゲストハウス。1階は管理人2人が切り盛りするバー。隣接する別棟に花屋や雑貨店などが入る予定だ。

4月、石井さんらが地元の人らを招き、お披露目会を開いた。「なんてにぎやかな」。近くに住む仲上ミサ子さん(78)は鳥居をくぐり、中庭で催された出店などをを見て、思わずつぶやいた。1980年ごろから徐々にシャッターが目立ち始めた商店街。「またにぎやかな街になるのかしら」と

声を弾ませた。

オープンを目指し、ペンキ塗りなどを手伝ったのは

明石さんらのフェイスブックでの呼びかけに応じた大学生たち。海外でゲストハウスの旅をしてきた大学4年の長江真奈さん(21)は「たくさんの出会いが生まれるのがゲストハウスの魅力。こうやって立ち上げに関われるのは幸せ」と笑顔

を見せた。

昔ながらの商店が立ち並び奉還町のレトロな雰囲気が出ないという野口さんと明石さんは「たくさんの人に鳥居をくぐりに来てほしい」と話す。通常1人1泊2800円から。定員2人の個室もある。予約など詳しくはホームページ(<http://torikuguru.com/>)。(長谷川健)